

# さくかみのうち 佐久上ノ内遺跡

石岡市佐久

佐自塚古墳被葬者の住んだ豪族居館か

石岡市教育委員会 谷仲俊雄

## 遺跡の概要

佐久上ノ内遺跡は、茨城県石岡市（旧八郷町）佐久に所在する遺跡です。遺跡の所在する舌状台地の先端には古墳時代前期の前方後円墳である佐自塚古墳（墳丘長 58m）が所在し、以南には「柿岡古墳群」（後藤・大塚 1957）が展開しています。「柿岡古墳群」は、古墳時代前期の前方後方墳の丸山古墳（墳丘長 55m）、長堀 2 号墳（墳丘長 46m）、前方後円墳の可能性のある長堀 6 号墳などが存在する常陸屈指の前期古墳の集中域です。

発掘調査は、茨城県による農村交流基盤整備事業に伴い農道整備部分 1,600 m<sup>2</sup>を対象に平成 25 年 9 月～12 月に実施しました。調査主体は株式会社東京航業研究所（担当者：林邦雄）です。

検出された遺構は堅穴住居跡 38 軒（弥生、古墳、奈良・平安時代）、溝、土坑などで、なかでも 1 号溝は、調査区を東西および南北に走る溝で、調査区外のソイルマーク等を参考にすると、東西約 72m × 南北約 53m を方形に区画する溝となります。幅は 2.5～3.7m 程度、深さは 0.9～1.2m 程度で、断面は台形状でした。

溝からは、多量の古墳時代前期中葉～中期前半の土師器が多量に出土しています。溝の区画内からは溝と同時期と考えられる遺構は確認されていませんが、溝の規模や形状、区画の推定平面形、後述する遺物の出土状況から窺える祭祀の痕跡などからは、古墳時代における「豪族居館」の区画溝の可能性が高いと考えられます。

## 出土品の概要

1 号溝からは、古墳時代の土師器が多量に出土しています。特に、上層において約 6～7m 間隔で集中する地点と、底面直上において集中する地点が存在します。両者の土器には年代的な隔たりがあり、下層は古墳時代前期中葉、上層は古墳時代中期前半と考えられます。上層出土土器については、上述のような集中地点から溝が埋まりきる直前に投棄されたと考えられます。また、下層の土器周辺の溝底面や壁に弱い被熱痕が確認されており、また被熱範囲と同一範囲で覆土に炭化物・粒が確認されていることから、儀礼が行われ、そこで使用された土器がそのまま放棄されて、自然に埋没中に土圧などの作用

で潰れた状況で出土したと推測されます。したがって、溝の存続時期は古墳時代前期中葉を上限、中期前半を下限とすることができます。

## 遺跡の評価

佐久上ノ内遺跡で検出された 1 号溝を「豪族居館」の区画溝とすると、この「居館」に対応する古墳として考えられるのは、南に約 700m の距離にある佐自塚古墳です。佐自塚古墳は、1963 年に発掘調査が行われ、主体部上から完形の高杯 2 点が出土しているほか、粘土櫛周辺からも小型丸底土器などが出土しています（佐自塚古墳調査団 1963、大塚 1972）。これらの土器は 1 号溝の下層土器群と上層土器群との間に編年できるものです。佐自塚古墳の出土土器が主体部上出土一埋葬時の供献行為によるものと考えると、佐自塚古墳の埋葬時期は居館の存続時期内に位置付けられるとともに、その被葬者の活動時期も居館の存続時期と重複することになります。さらに、両者の位置関係を考えると、佐自塚古墳の被葬者の居館こそが佐久上ノ内遺跡と特定することも可能となります。

佐自塚古墳は主体部上から土器群が出土した恵まれた事例という点も幸いしますが、その居館が土器編年や埋没状況から特定できる、言い換れば、佐久上ノ内遺跡—佐自塚古墳という居館—奥津城のセット関係が考古学的所見から特定できる、極めて貴重な事例になります。

## 文献

- 井 博幸 2012 「茨城県中央部における前期・中期古墳の展開」  
『婆良岐考古』第 34 号
- 大塚初重 1972 「古墳出土の土師器 I 佐自塚古墳出土の土器」  
『土師式土器集成』本編 2
- 後藤守一・大塚初重 1957 『常陸丸山古墳』丸山古墳顕彰会
- 佐自塚古墳調査団 1963 『佐自塚古墳調査概要』
- 林 邦雄編 2014 『佐久上ノ内遺跡—H25 農村交流基盤整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査—』東京航業研究所・石岡市教育委員会
- 林 邦雄・谷仲俊雄 2014 「石岡市佐久上ノ内遺跡の調査」『平成 26 年度茨城県考古学協会研究発表会資料』茨城県考古学協会

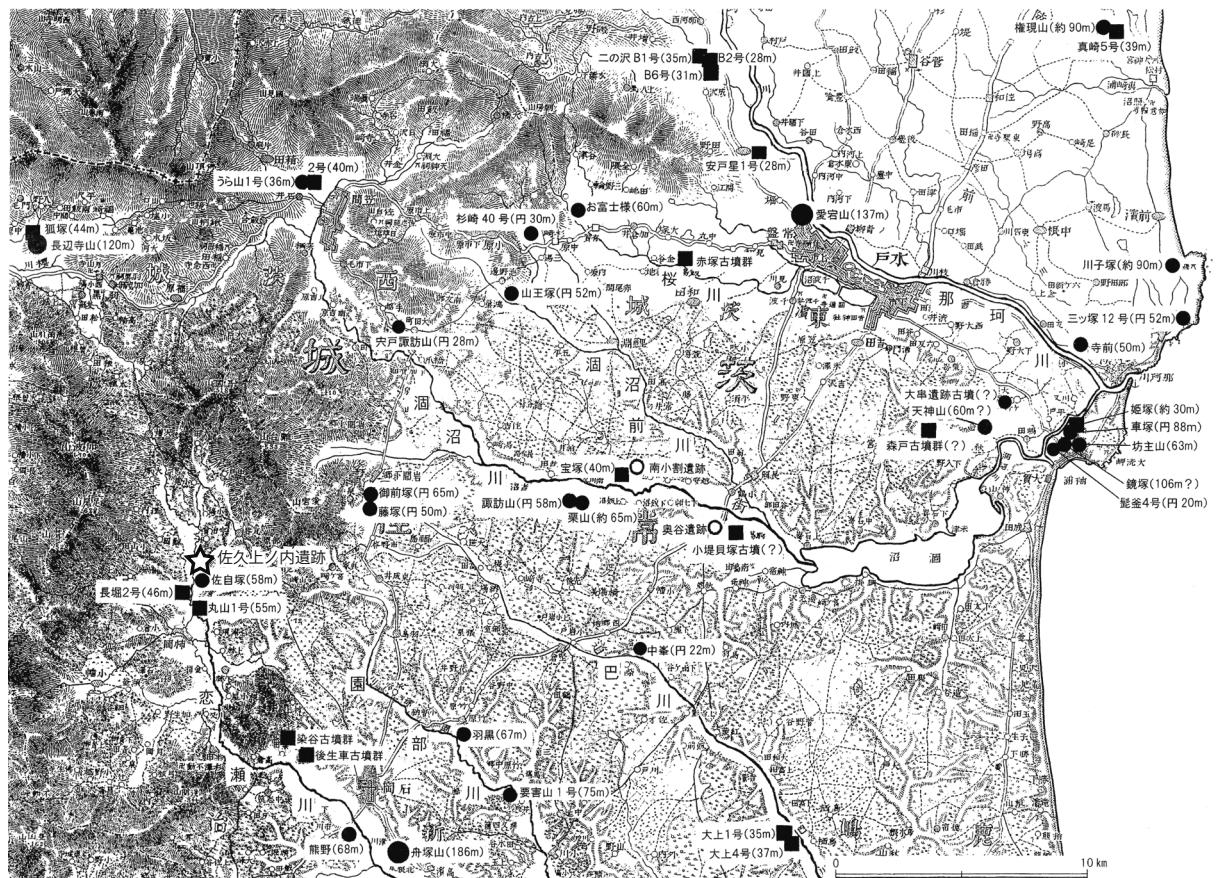


図1 佐久上ノ内遺跡の位置と周辺の遺跡（1）（井2012に加筆）

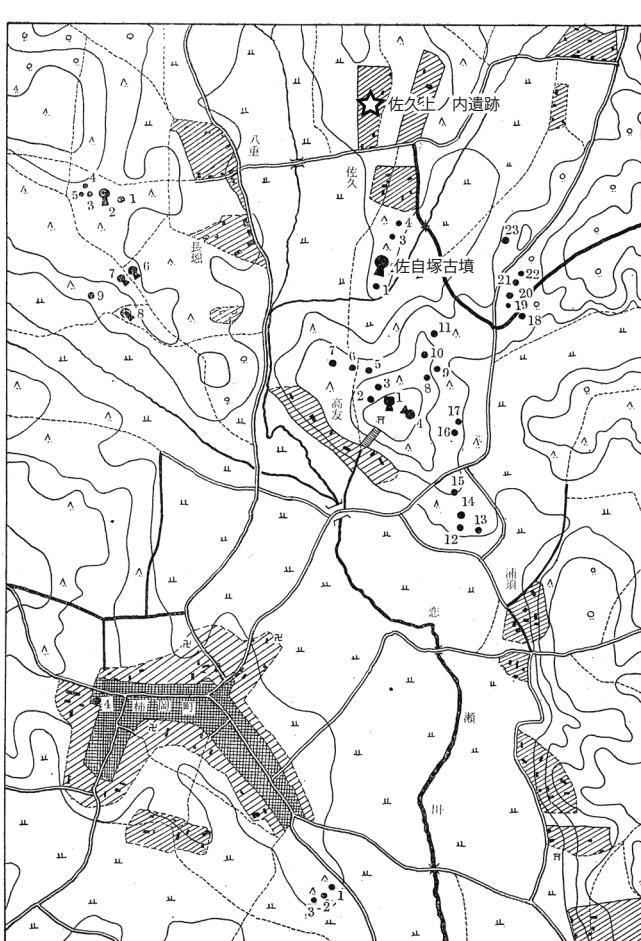


図2 佐久上ノ内遺跡と「柿岡古墳群」（後藤・大塚1957に加筆）

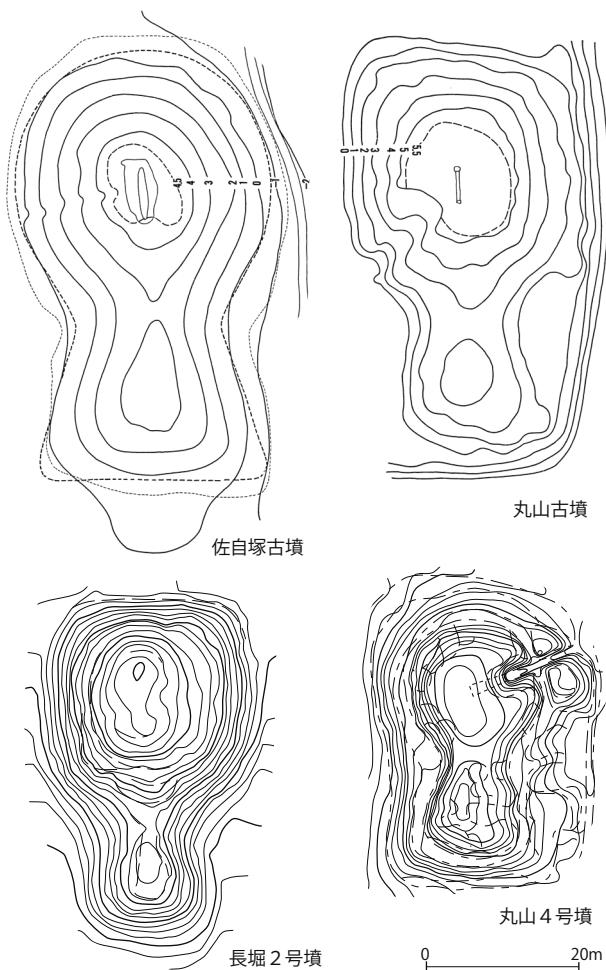


図3 「柿岡古墳群」の前方後円墳・前方後方墳

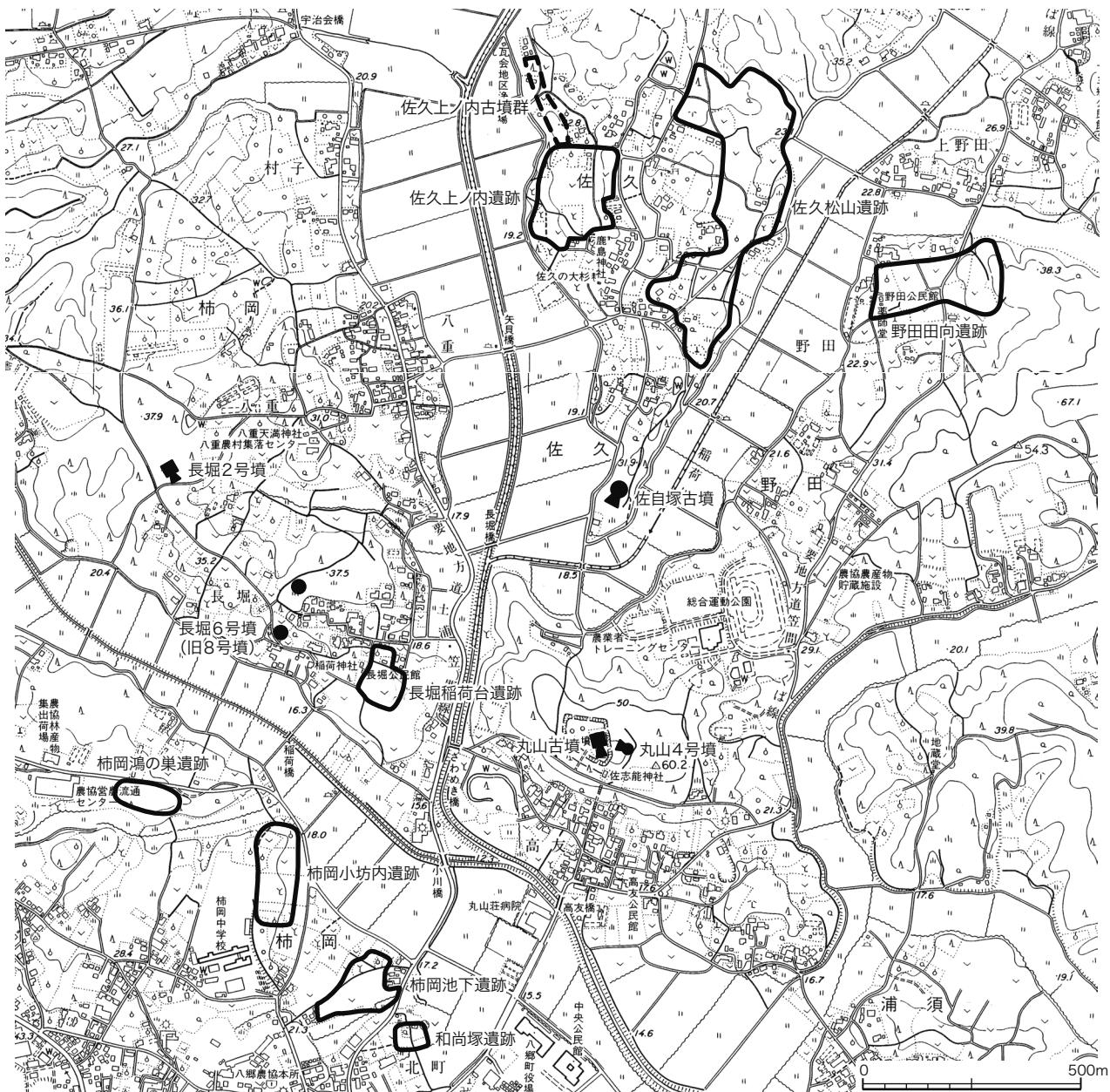


図4 佐久上ノ内遺跡の位置と周辺の遺跡（2）

表1 佐久上ノ内遺跡と周辺の遺跡調査歴

遺跡名	調査歴	古墳時代の主な遺構	文献
佐久上ノ内遺跡	2013年発掘	竪穴住居跡, 槽(古墳時代前期～中期)	林2014
佐久松山遺跡	2008年発掘	石製模造品(剣形・有孔円盤)	齋藤・大橋2009
柿岡鴻の巣遺跡	2013年発掘	竪穴住居跡13(古墳時代後期主体), 鍛冶工房1(古墳時代中期)	齋藤・大橋2009
柿岡小坊内遺跡	2012年発掘	竪穴住居跡3(古墳時代後期主体)	小川・小杉山2007, 小杉山・曾根2013
柿岡池下遺跡	2007年, 2011年発掘	竪穴住居跡2(古墳時代中期, 後期)	小川・小杉山2007, 小杉山・曾根2013
佐久上ノ内古墳群		円墳3, 石棺?	
佐自塚古墳	1963年発掘	前方後円墳(墳丘長58m, 古墳時代前期後半～末)	佐自塚古墳調査団1963
長堀2号墳	1972年, 2010年測量	前方後方墳(墳丘長46m, 古墳時代前期)	早稲田大学考古学研究室1973, 小杉山・曾根2012
丸山古墳	1952年発掘	前方後方墳(墳丘長55m, 古墳時代前期後半)	後藤・大塚1957
丸山4号墳	1952・54年発掘 2007年測量	前方後円墳(墳丘長36.5m, 古墳時代後期)	後藤・大塚1957, 佐々木・鶴見2012, 曾根2012
和尚塚古墳		円墳(15m), 石棺?	後藤・大塚1957, 西宮1999

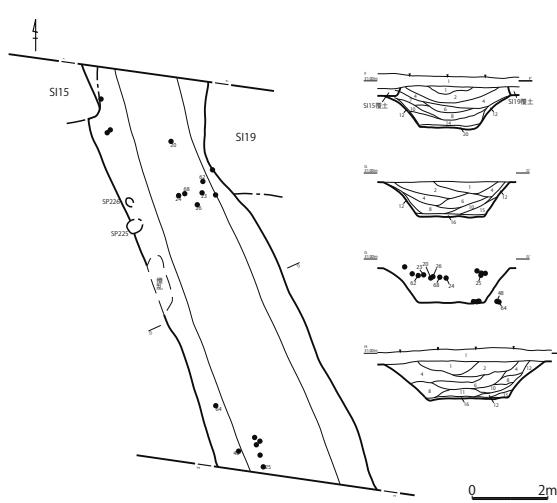
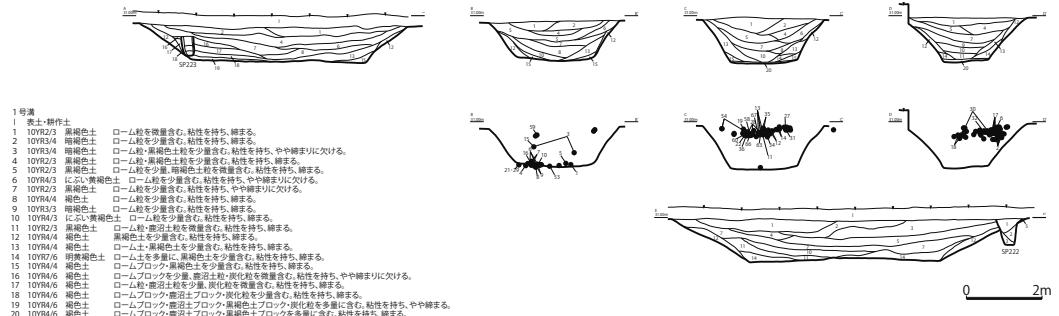
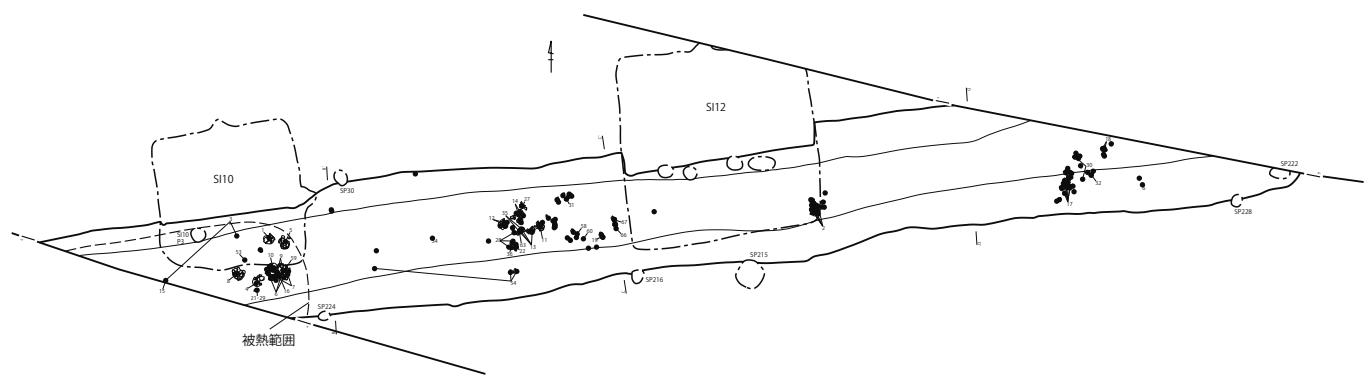
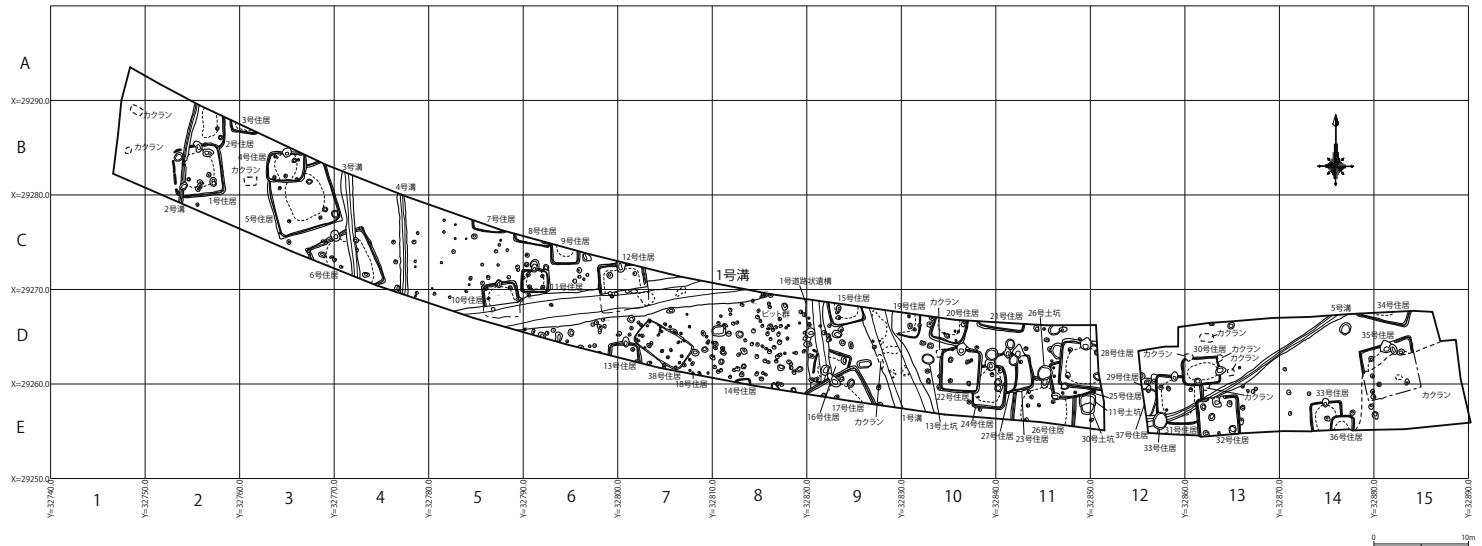


図5 佐久上ノ内遺跡  
全体図 ( $S=1/800$ ), 溝 SD01 ( $S=1/200$ )

上層

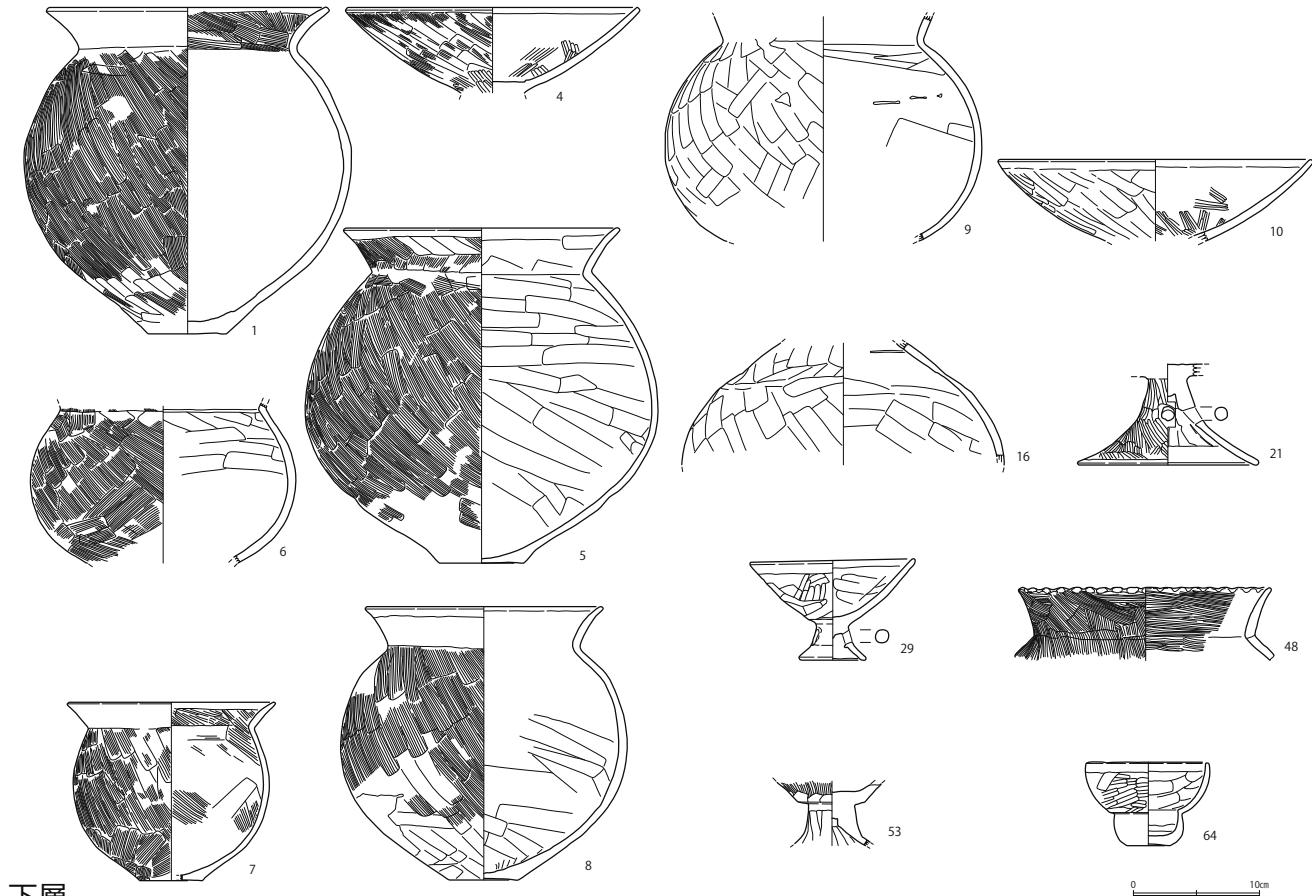
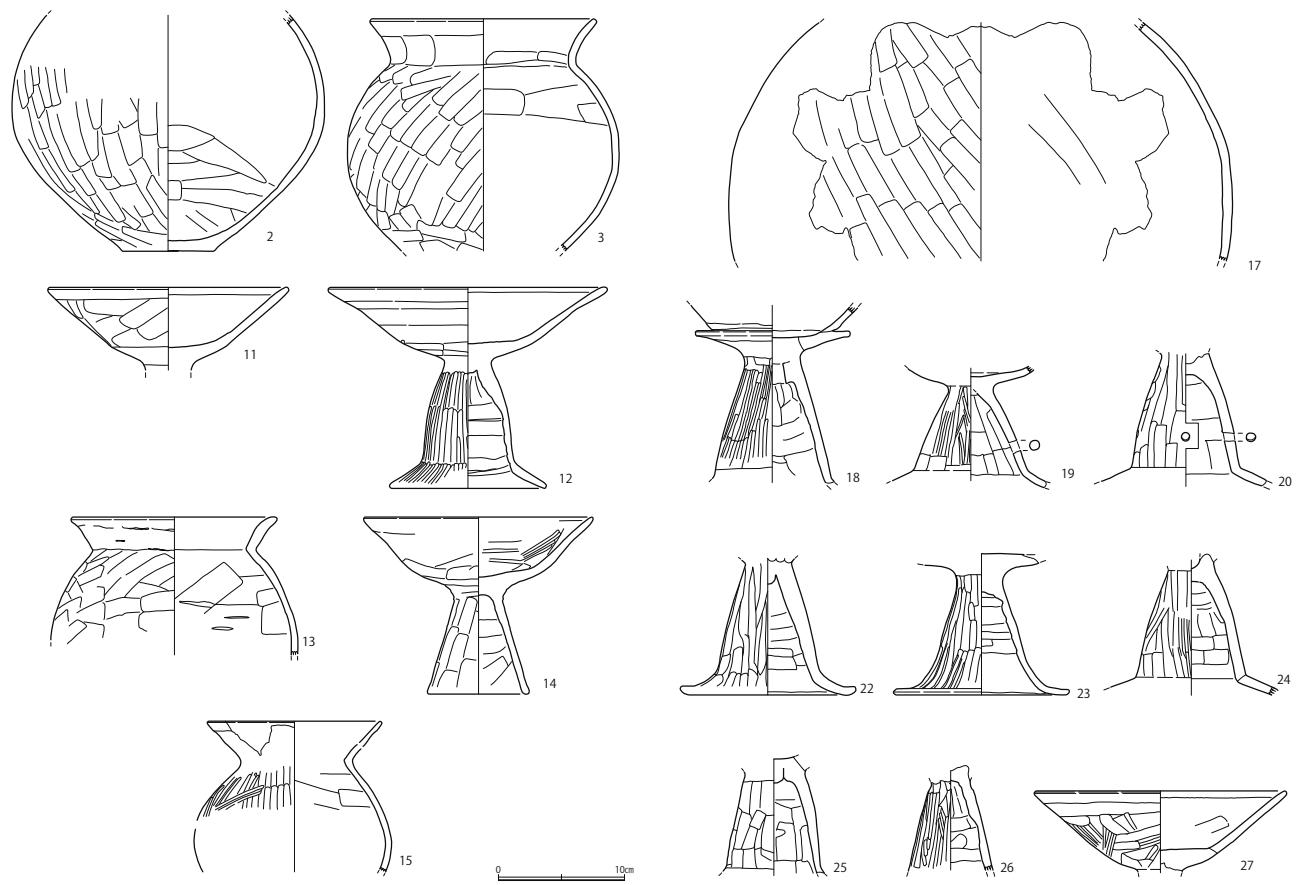


図6 佐久上ノ内遺跡 出土遺物 (S=1/6)

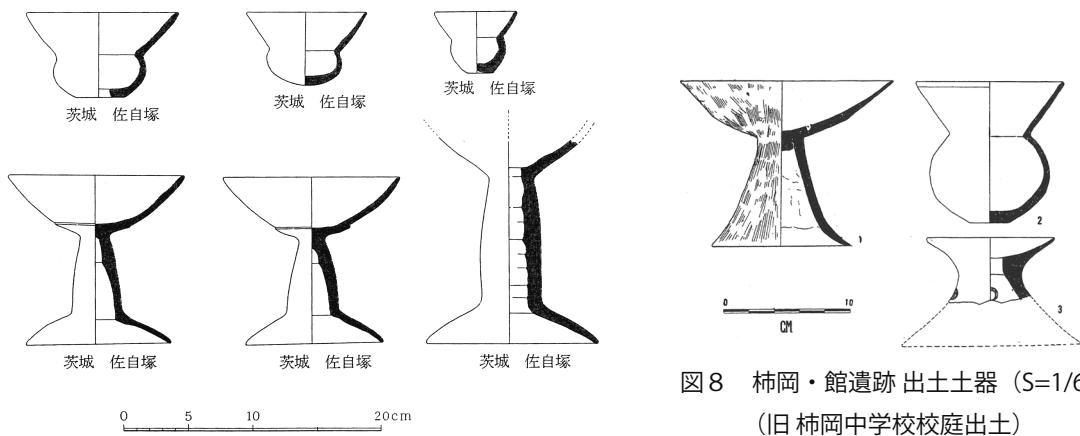


図7 佐自塚古墳出土土器 (S=1/6)

図8 柿岡・館遺跡出土土器 (S=1/6)  
(旧柿岡中学校校庭出土)

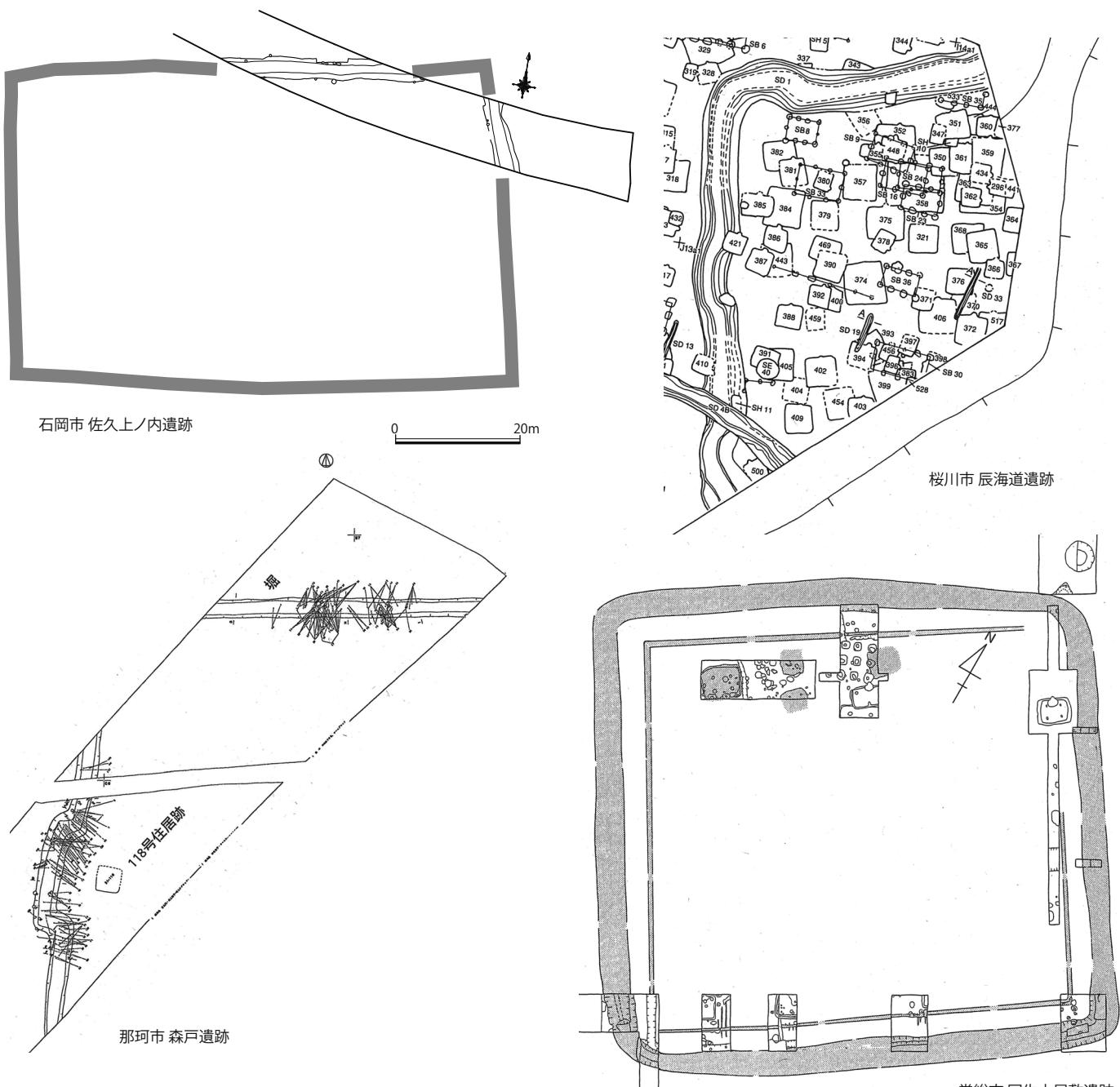


図9 茨城県内の「豪族居館」 (S=1/1,000)